

日頃から防災対策を強化
コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い
お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち
健診・検診を推進

まさよ通信



一緒に考え、一つ先へ、一步を踏み出す郡上に。

3月定例会が終了しました。この定例会では、いろいろと議論されてきました市議会議員の定数について条例改正が行われ、これまでの18人から15人と変更になりました。私もこの改正に賛成しました。議員一人の責任は大きくなりますが、市民の皆様の声に耳を傾け、地域のために尽力していかねばならないと改めて感じています。微力ではありますが精一杯取組んで参りますので、今後ともご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和8年 第1回臨時会報告 令和8年1月27日

専決(R7年度補正予算)/令和7年度補正予算

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業計画

1世帯
2万円

給食費無償化支援事業

郡上市共通商品券配布事業

↳ R8年2・3月分(保育園・認定こども園・幼稚園・小学校)

医療・福祉事業所等・高齢者生活支援事業者物価高騰緊急支援事業 など



令和8年 第2回定例会報告 令和8年2月26日から3月24日

専決(R7年度補正予算)/人事案件/条例関係(一部改正)/R8年度当初予算/計画(基本構想他)/財産関係(無償貸付)/議発 など
当初予算

一般会計	特別会計	企業会計		
292億4,400万円	123億400万円	水道事業 13億4,100万円	下水道事業 22億8,800万円	病院事業 47億5,900万円

条例関係 (一部抜粋)

郡上市副市長の定数を定める条例の一部を改正する条例

財政の健全化及びトップマネジメントの効率化を目的に、副市長の定数を改めるため
(定数を2名から1名へ)

R9年4月1日から施行

郡上市図書館設置条例の一部を改正する条例

「郡上市図書館めいほう分室」及び「郡上市図書館わら分室」を閉鎖

R8年4月1日から施行

専決R7年補正予算

道路除雪補正予算 11億3,400万円 (総額:14億2,400万円)

議員発議 第二号

図書利用について



郡上市議会議員定数条例の一部を改正する条例

市議会議員の定数は18名から15名とする

次回一般選挙から施行

私の9月の一般質問をきっかけに、雑誌の購入が再開されました。

田代 まさよ

携帯 090-5036-3971

住所 郡上市白鳥町中西488-1

E-mail masayo.t4881@gmail.com

過去の通信が
閲覧可能



公式Webサイト

友だち登録で
毎号通信が届く



LINE友だち

3月定例会 私の質問と市の答弁

循環型経済(サーキュラーエコノミー)について

質問 市では「脱炭素宣言」を行っているがどのような施策や推進をしてきたか。目標は達成出来るのか。

答弁 遠藤環境水道部長

令和3年2月26日に市長が「脱炭素社会郡上の実現」を宣言した。削減目標の令和12年度に46%削減を達成できると見込んでいる。令和8年度には、省エネ家電購入支援事業を予定。市の率先実施として、庁舎のZEB化や、公用車の低燃費車の選定につとめている。各家庭でも省エネや低燃費を意識した物の選定や消費電力の節約に理解・協力を願いたい。

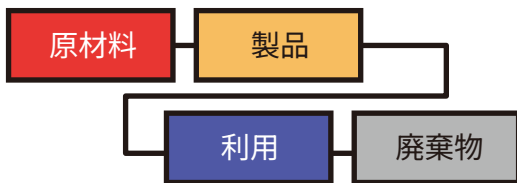
質問 循環型経済【サーキュラーエコノミーとは資源を無駄なく循環させ廃棄物を最小化して、再利用・リサイクルし続けるという新しい経済システム。ゴミを出さずずっと使いまわす仕組み】が注目されている。自然再興(ネイチャーポジティブ)【ネイチャーポジティブとは、2030年までに自然の損失を止め回復軌道にのせる。自然をこれ以上減らさないこと。】と合わせての市の取組みや施策はあるのか。身近なサーキュラーエコノミーとして段ボールコンポストなどより推進できないか。

答弁 山川市長

サーキュラーエコノミーとネイチャーポジティブは、郡上市の未来を考える上で重要な視点である。4R運動の推進や食品ロス削減に取り組んできた。食品ロス削減については、サーキュラーエコノミーとネイチャーポジティブの双方の考え方が含まれた課題であるので、郡上もつたいないプロジェクト(通称Gumotta)と銘打ち取組みを進めてきた。段ボールコンポスト自体は、市が合併した平成16年から推進している。市の生涯学習講座として段ボールコンポストの出前講座を行っている。令和3年度より「コンポストを作ってお得にごみ袋」事業を実施している。郡上市クリーンセンターの老朽化に伴う可燃物の広域処理への転換を見据えると、可燃ごみの減量化は財政にも直結する重要課題。食品廃棄物などの減量化を進めるには、段ボールコンポストの取組みの普及や生ごみ削減の取組みを一層推進することが不可欠であり、今後の施策展開において最重要課題の一つとして認識している。取組みとして、段ボールコンポストを体験してもらうために、モニター事業などの実施や白鳥中学校が発表した「完熟たい肥プロジェクト」を参考に、連携した取組みの検討も進める。家庭からの資源化・減量策を実効性のある形で推進したい。

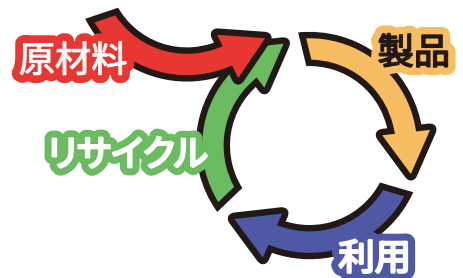
■ リニアエコノミー

(線型経済)



■ サーキュラーエコノミー

(循環経済)



高齢者のひとり住まいと火災について

質問 令和7年における、ひとり住まいの火災はあったのか。住宅火災警報器の把握や感震ブレーカーの周知方法は

答弁 兼山消防長

令和7年の火災のうち、ひとり住まいの住宅の火災はなかった。住宅火災警報器の市内の「設置率」は90%、「条件適合率」は63%。感震ブレーカーは、震度5強相当の地震を感知して、電気を自動で遮断する機器。地震の揺れに伴う電気機器からの出火や停電が復旧したときに発生する火災を有効に予防することが期待される。4月に感震ブレーカーの回覧チラシを市内全地区に配布する予定。